GK情報レポート

【2025 年発行】
vol. 76
夏号

発行者
権田金属工業株式会社　営業部
〒252-0212
神奈川県相模原市中央区宮下 1-1-16
電話　042-700-0221
FAX　042-700-0660
E-mail　eigyo@gondametal.co.jp
https://gondametal.jp

Contents

1. 四角棒・六角棒について
2. 横浜伸銅　加工品対応を強化
3. ゴルフ練習場『ボールパーク』がリニューアル
4. 相場情報

皆様でご回覧下さい。										
回覧印										

※バックナンバー（Vol.1～75）を用意しております。ご希望の方は当社営業部までお問い合わせ下さい

権田金属工業株式会社

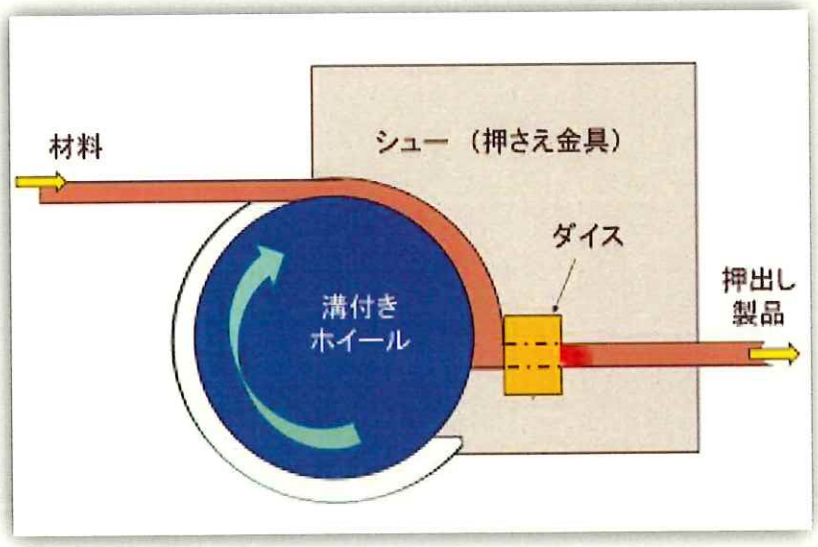
1. 四角棒・六角棒について

当社ではブスバー、丸棒だけでなく四角棒、六角棒の製造も行っております。
予てよりお客様から多くの要請をいただいており試作を行っておりましたが、製品開発に成功し市場投入を開始しております。

◎製造工程
荒引線→コンフォーム連続押出→冷間引抜→矯正→切断→検査→出荷

原料の荒引線をコンフォーム押出機に通すことで摩擦熱によって柔らかくなり、押し出しする型の前に材料が貯まります。よって材料径よりも大きな断面積の製品を押し出すことが可能です。押し出し後冷間引抜、矯正を行い寸法精度を出し、曲がりのない製品に仕上げています。導電性、熱伝導、展延性に優れており電気部品や工業製品などに使用されます。

◎コンフォーム押出機の構造



主にアルミニウム型材のユニークな製造方法として使われているコンフォーム押出機を、当社では独自の技術を加えながら銅製品を製造しております。
コンフォーム押出機は、1971 年に英国原子力公社で開発された荒引線を摩擦熱により連続的に押し出す製法で、荒引線の断面積よりも大きい製品を連続的に押し出すことができます。

◎製造範囲

材質	寸法(mm)		長さ(mm)	調質
	四角	六角（対辺）		
C1100 C1020	6.0×6.0	6.0	4,000	H・1/2H・1/4H
	7.0×7.0	7.0		
	8.0×8.0	8.0		
	9.0×9.0	9.0		
	10.0×10.0	10.0		
	11.0×11.0	11.0		
	12.0×12.0	12.0		
	13.0×13.0	13.0		
	14.0×14.0	14.0		
	15.0×15.0	15.0		
	16.0×16.0	16.0		
	17.0×17.0	17.0		
	18.0×18.0	18.0		

※上記表の中で新規ダイスが必要なサイズがございます。詳しくは当社営業担当までお問合せください。

記者　西谷

2. 横浜伸銅　加工品対応を強化

当社のグループ会社である「横浜伸銅株式会社(以下、横浜伸銅)」は、非鉄金属各種を少量多品種で揃える非鉄流通商社で、主に定尺品の在庫販売や切断対応を行っております。加工品に関しては協力会社へ委託しておりましたが、この度社内で製品加工出来るようになりました。

昨年末に廃業した加工業者より、旋盤加工機２基やバンドソー1 基、ボール盤１基を引き取りました。同時に同設備を長年取り扱ってきた従業員も横浜伸銅へ招き、これまで協力会社へ委託していた細物丸棒のローレット加工などの内製化を図りました。
設備だけでなく熟練者も同時に横浜伸銅へ移っており、長年培われた技術を活かしつつ、後継者への技術伝承にも注力しております。

銅・黄銅だけでなくアルミ・ステンレス・鉄の加工にも対応しております。「小ロット・短納期」をモットーに更にお客様のニーズにお応えできればと思っております。

その他ご不明点等ありましたら当社並びに横浜伸銅の営業部までお問い合わせください。
何卒よろしくお願い申し上げます。

横浜伸銅株式会社
神奈川県横浜市都筑区川向町 1158-1
045-620-0034(代表)

鉄製リング(外径φ350)

黄銅機械加工品

記者　小方

3. ゴルフ練習場『ボールパーク』がリニューアル

当社の関連会社が運営し、本社工場敷地に隣接しているゴルフ練習場『ボールパーク』は1997年4月にオープンしました。
オープンから28年が経過し、外壁塗装の劣化が目立って来ましたので、この度改めて外壁を修復、再塗装を行ないました。昨年は、フェアウエイの人工芝の張り替えや打席、クラブハウスのリニューアルも実施し新たなボールパークとして営業しています。
地域住民の皆様にご愛顧頂き、28年もの長い間営業を行なう事が出来ました。
これからも地域住民の皆様に愛され、憩いの場となるゴルフ練習場を目指して行きたいと思います。
3階建て72打席220ヤード、88台分の駐車場を併設しているゴルフ練習場は相模原市内でも最大規模です。
お近くにお越しの際は、リニューアルオープンした『ボールパーク』に是非ご来場下さい。

記者　日吉

ゴルフ練習場　ボールパーク
神奈川県相模原市中央区宮下1-1-25　電話　042-770-7788

4. 相場情報

1. 電気銅建値推移

2025年　2月・・・1,440円スタート（2月平均1,456.4円）
2025年　3月・・・1,460円スタート（3月平均1,496.3円）
2025年　4月・・・1,500円スタート（4月平均1,375.7円）
2025年　5月・・・1,420円スタート

2.LME在庫状況及び需給状況

LME在庫は2024年8月の30.2万トンを境に本年4月末時点では20.9万トンまで減少した。
銅の在庫量の変移は幾つかの要因に依る。
供給面では不安要因が散見される。世界一の銅鉱石供給国チリの最大銅鉱山エスコンディーダで繰り返される労使交渉、インドのアダニ及びインドネシアのマニャール両精錬所の立上げが遅れ、更に炉の不具合で操業中止に追込まれたチリのアルトノルテ精錬所等多くの不安定要素が指摘される。加えて左派大統領が世界有数の銅鉱山保有国チリとペルーで誕生すると、自国資源の国有管理の色を強め、銅の輸出量を制限する動きを見せることになるだろう。

昨年末発表のチリ銅委員会（COCHILCO）作成の銅市場予測白書では、2025年の世界の銅供給量は前年比2.3%増の2,639万1千トン、需要は2.3%増の2,631万5千トンとなり、その差は7万6千トンだった。供給過多ではあるが2024との比較では需給差は5千トン減った。白書では需要面の弱気要因として、不動産問題に端を発する出口の見えない中国経済不況の深刻化、並びにトランプ米大統領が仕掛ける関税戦争の可能性が挙げられていた。

今年3月時点で、中国の70都市の新築住宅価格は21か月連続で下落し、前年同月比でマイナス4.5%に。また中国国家統計局は、5月10日に4月の消費者物価指数（CPI）を前年同月比で0.1%低下と発表した。本年2月1日トランプ米大統領は関税上げの大統領令に署名。昨年末のチリ銅委員会言及の難題が現実となった。相互関税が施行されると世界経済が縮小すると予想されている。

3.為替の見通し

トランプ米大統領の主張する「相互関税」政策は、米国内外に大きな混乱を起こしている。この関税策は朝礼暮改を極め、その影響は大きく且つ不安要素も尽きない。
今年4月の米消費者信頼感指数は前月から7.9ポイント減の86.0に低下。将来への期待指数は景気後退の兆しとされる80を大きく下回り、2011年10月以来の低水準の54.4に。米連邦準備委員会（FRB）は5月7日にインフレ懸念を前提に政策金利据え置きの姿勢を明言した。これにより米国の株式、通貨、債券が値を下げる「トリプル安」が鮮明となり、円などの資産価値を押し上げる一因になっている。日本経済に強要因がないため、為替に関しては、アメリカの国際政

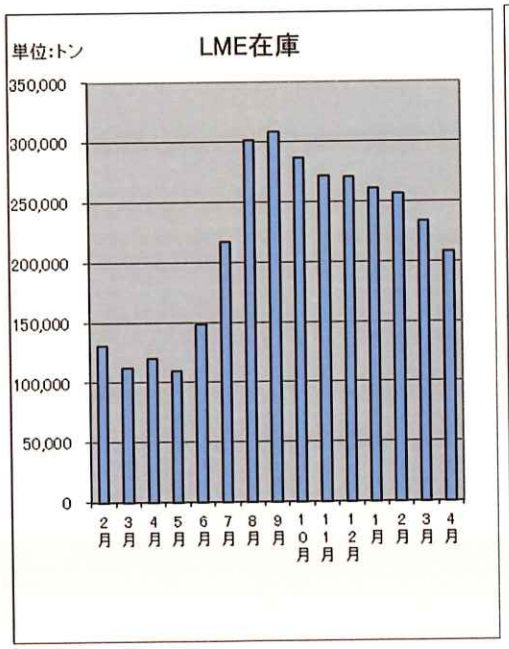
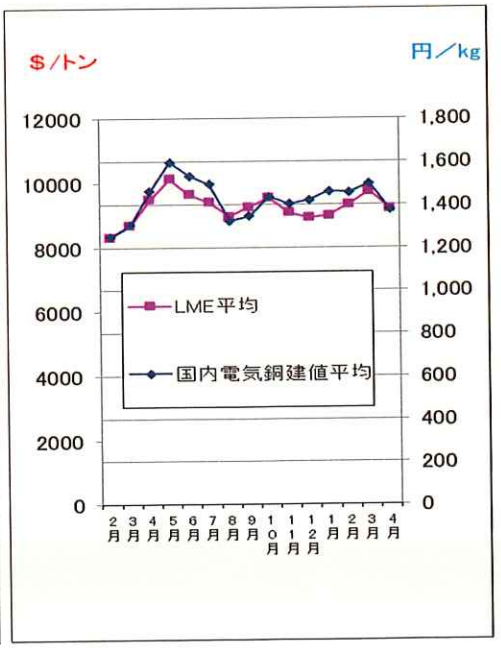
策に左右される傾向が強いものの、しばらくは足元の水準で推移するとみられる。

4.今後の見通し

銅の需要量について。長期的には今後右肩上がりとの見方が優勢である。例えば、世界のデータセンター建設用銅材の需要は2025年から3年間がピークとされ、その見込み需要量は年間50万トン以上と期待される。データセンター、EV産業、再生可能エネルギー等を併せ2030年までに現在の世界での銅消費量の約15%相当の新たな需要が生じると見られている。

とはいえ現時点では、銅市場といえども米関税策の影響を逃れえない。3月11日にゴールドマン・サックス社は、米国の銅への25%輸入関税実施の可能性を90%と予想。また同社はこの関税策にあおられて「数ヶ月以内に米国の銅輸入量が最大で倍になる可能性」に触れている。

上述の状況は銅の価格にも影響を及ぼし、LME価格と米国市場の銅価との間に乖離が生じるに至っている。2月時のCOMEX（ニューヨーク商品取引所）銅先物価格はLME価格に対し1トンあたり1,126ドル高値だったものが、4月末には、1,400ドルを超えた。米国だけでなく、欧州やアジア諸国で景気減速が囁かれる中、LMEのみならず上海金属市場（SMM）の在庫も減少傾向にある。実需は弱含みだが、「銅の米国集中」の影響により銅価は短期的にはやや上がり傾向にある。またトランプ米大統領の明言した相互関税90日適応停止期間切れを迎える7月10日に向けて投機投資筋の動きも活発になる見込みである。これらを踏まえて、以下の通り予想する。

短期予測（1M）	LME	$8,700～9,700/t	為替　140～155円/$
銅建値		1,350～1,500円/kg	
長期予測（3M）	LME	$8,500～9,800/t	為替　135～155円/$
銅建値		1,330～1,550円/kg	

記者　田中